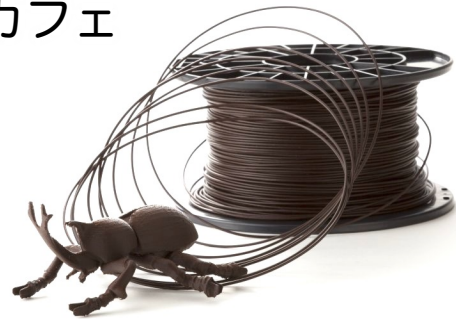


驚きの木の使い方



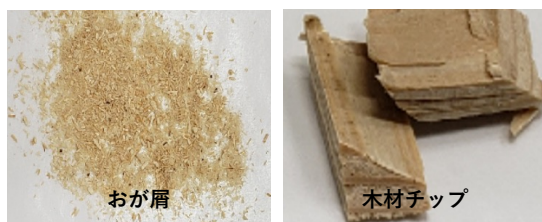
改質リグニン含有樹脂をもちいた
3Dプリンター用基材と印刷成型物

ーバイオプラスチック実用化の最前線ー

化石資源の大量消費に伴う大気中のCO₂濃度は増加の一途をたどり、それによって引き起こされる大規模な気候変動は人類の生存を脅かすまでに至っています。そのため、化石資源に依存しないエネルギー獲得が急務となっています。また私たちの生活に欠かせないプラスチック製品もそのほとんどが化石資源に由来しており、再生可能な有機資源由来のプラスチックへの転換が求められています。

木材は建築用材やパルプ・チップ用材として用いられてきた再生可能な天然資源です。近年、驚くべき木材の活用法が開発され注目を集めています。木材成分のうち、リグニンは難分解で選択的な溶解は難しいと考えられてきましたが、単離して製品化できることが報告されました。また、木材を簡便な方法で溶解し新素材開発へ繋げることも可能となりました。このトークカフェでは新しい木材の使い方について学びながら、それらの将来性について一緒に考えてみませんか。

日時：2024年 3月 2日 (土)
13時30分～16時30分
場所：東京大学中島ホール
(東京大学農学生命科学研究科フードサイエンス棟)
後援：一般社団法人 日本木材学会
リグニン学会
参加費：無料 ただし事前登録が必要です。
下記の申込方法を参照ください。



内容
13:30～ 開会挨拶：高部 圭司
(NPO法人 才の木・理事長)
13:35～ 高機能材料へ展開できるバイオプラスチックを
目指した木の使い方
山田 竜彦 (森林総合研究所)
14:15～ 木を溶かして作る新素材
渡辺 隆司 (京都大学 生存圏研究所 教授)
14:55～ コーヒーブレイク
15:15～ トークセッション

司会・コーディネーター：
福島 和彦 (NPO法人 才の木・理事)



申込方法：下記のURL、あるいはQRコードの「参加者フォーム」から申し込みください。

<https://forms.gle/fEVqE6vSueucHUkU6>

会場で聴講をご希望の方は、「会場」をクリックしてください。定員は50名です。Zoomで聴講をご希望の方は、「Zoom」をクリックしてください。直接メールにてZoomURLをご案内申し上げます。

